

2020 年度実施概要

学校名

新居浜市立金栄小学校

採択活動名

海の恵みで発展してきたふるさとを学ぶ～多喜浜塩田を未来に伝えよう～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 川や山から学ぼう大洲青少年交流の家	5年生	総合
2. 環境・防災について考えよう	5年生	総合
3.		

取り組みの概要

本校では、学校と地域が一体となった学習活動を推進してきた。しかし、今年度はコロナ禍により中止となる行事等が多く、十分な取組ができていない面があった。そのなかでも地域の産業・文化・歴史・環境等について学ぶことにより、児童は地域貢献に主体的に取り組む姿勢を身に付けることができた。教師もSDGsの視点を意識して、ESD活動や各教科の授業に取り組む姿がみられるようになってきている。

学校としても地域とのつながりの大切さをコロナ禍により再確認することができた。今後もその成果を多様な方法で情報発信し、持続可能なつながりを求めて主体的な取組を進めていき、ESD活動の活性化を図るとともに、創意工夫のある実践にしていきたい。

(1) 川や山から学ぼう大洲青少年交流の家（5年生）

大洲の地域資源である川を活用し、カヌーを使った理科（流れる水のはたらき）の学習を行った。実際にカヌーに乗り、川の内側と外側の流れの速さの違いや川底の深さ、水量を肌で感じることもできた。また、川原や川岸の石を実際に手でとって観察するなど、学校では体験できない活動を通して、自然環境の保全への意識や生きる力を育むことができた。

**(2) 環境・防災について考えよう（5年生）**

市役所の総合危機管理課と連携して防災学習を行った。講師の話を聞いたり自分たちで調べたりする中で自分たちが住む地域がどのような災害の危機に直面しているかについて、認識を深めるとともに、災害時の諸問題について理解することができた。また、地域の方々とまち歩きを行い、河川の環境や災害時の河川の水位、また避難経路などについて学ぶことができた。地域の方々とともに地域防災に取り組む中で、地域との関わり合いを深め、地域への帰属感や連帯感を育むことができた。また、地域全体で防災力を向上させることの大切さを学ぶとともに、自らが地域貢献に主体的に取り組む姿勢を身に付けることができた。



活動中の写真

【4年生（1）】



【4年生（2）】

